

福祉文教常任委員会協議会会議録

1 開会日	平成30年3月26日 午前 9時30分 開会 午前10時50分 閉会
2 場 所	第1委員会室
3 出席委員	片野哲生委員長 三澤龍夫副委員長 竹内恵美子委員 吉川重雄委員 奥津勝子委員 玉虫志保実委員 渡辺順子委員 関 威國議長
4 傍聴議員	二宮加寿子議員 鈴木京子議員
5 説明員	中崎町長 栗原副町長 森田参事（政策担当） 瀬戸子育て支援課長 田中保育園・幼稚園係長 齋藤総務課長
6 職務のため 出席した職員	局長 大槻 直行 書記 波多野昭雄
7 協議等の事項	(1) 公私連携幼保連携型認定こども園サンキッズ国府の開園に伴う 現地視察について (2) その他
8 その他	一般傍聴 なし

(午前 9時30分) 開会

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 皆さんおはようございます。定刻に御参集いただき御苦労さまです。ただいまの出席委員は7名全員でございます。

定足数に達しておりますので、これより福祉文協常任委員会協議会を開会いたします。

初めに町側から、御挨拶をお願いします。

○町長【中崎久雄君】 おはようございます。福祉文教常任委員会協議会、きょう開催いただきありがとうございます。内容はお手元でございますが、略しましてサンキッズ国府の開園に伴う現状ということで、説明と現地視察をよろしく願いいたします。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 御苦労様です。

それでは直ちに本日の会議に入ります。会議次第はお手元に配付したとおりでございます。本日の議題は1件でございますので、よろしく願いします。

議題(1) 公私連携幼保連携型認定こども園サンキッズ国府の開園に伴う
現地視察について

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 それでは議題(1)「公私連携幼保連携型認定こども園サンキッズ国府の開園に伴う現地視察について」を議題といたします。

資料に基づき、担当課から説明をお願いします。どうぞ。

○子育て支援課保育園・幼稚園係長【田中恵子君】 子育て支援課の田中です。

それでは資料に基づき御説明させていただきます。まず1ページ目をお開きください。

サンキッズ国府は社会福祉法人恵仲会が設置運営事業者となりまして、平成30年4月1日に開園することで、このたび神奈川県知事より3月23日付で正式に許可がおりております。施設の概要としましては、鉄骨二階建づくり、延床面積879.91平方メートルの建物となります。建物の配置等につきましては、後ほど現地において御説明させていただきますが、資料としまして2ページ目以降に、配置図・平面図・立面図をつけさせていただきましたので、あわせて御確認ください。建物の設計監理につきましては、株式会社安江設計研究所、施工につきましては株式会社エス・ケイ・ディによるものとなっております。園児数は定員105名に対しまして、87名の園児の入園入所が決定しております。職員体制としましては、園長含め23名で園運営等を行ってまいります。

資料に基づく担当課からの説明は以上になります。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 それではこれより休憩して現地視察を行い

ますが、質疑のある方はいらっしゃいますか。

はい、渡辺委員。

○福祉文教常任委員会委員【渡辺順子君】 濟いません。保育園と幼稚園と一緒になんですけれど、保育園の面積と幼稚園のほうは分かれてるんですか。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 担当、どうぞ。

○子育て支援課保育園・幼稚園係長【田中恵子君】 子育て支援課・田中、お答えいたします。

まず1ページ目の建物の面積部分を書いてあるところをごらんいただきたいのですが、例えばゼロ、1歳児室、2階の2歳児室、こちらは保育園として入ってくるお子さんの対象の保育室になります。ただ3、4、5歳児に関しましては、保育園幼稚園、同じところでの保育となりますので、こういったところは共通になります。また、その他職員室ですとか調理室、あとお手洗いですとか遊戯室、こういったところは幼稚園と保育園の共有部分ということで、各面積割というのは全体の保育のところに係ること、あと幼稚園部分ということで、全体的にはそれぞれ面積数というのは案分されておりますが、環境としましては今のよう体制で保育を行っていくことになってまいります。

以上です。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 はい、渡辺委員。

○福祉文教常任委員会委員【渡辺順子君】 特に国の規定とか、そういうものはあるんですか。そういうものがあつた場合はクリアされているということになっているんでしょうか。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 はい、担当課。

○子育て支援課保育園・幼稚園係長【田中恵子君】 子育て支援課・田中、お答えいたします。

こちら面積に関しましては細かく、例えば遊戯室何平方メートルとかっていうふうに、かなり細かい規定がございまして全て協議段階から最終的な面積、地図等も含めまして、県のほうの許可は全て認定どおりということで、基準をクリアしているということで回答は得ております。

以上です。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 はい、渡辺委員。

○福祉文教常任委員会委員【渡辺順子君】 乳児室のゼロ歳児のほふく室っていうのがあ

るんですけど、済みません、これちょっとわからないんですけど説明してください。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 はい、担当課。

○子育て支援課保育園・幼稚園係長【田中恵子君】 子育て支援課・田中、お答えいたします。

乳児室に関しましては、ゼロ歳児さんはまだ歩行というのができませんので、ほふく室というところの表記をあえてしてはいないんですが、備考ということで「ほふく室を含む」ということで、改めて備考には記載しておりますが、ゼロ歳児さんのお部屋ということで解釈いただければと思います。

以上です。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 はい、渡辺委員。

○福祉文教常任委員会委員【渡辺順子君】 済みません、総事業費、なんていうんですか建てたお金、それとあと国の補助金とかがわかれば教えていただきたいのと、太陽光パネルとかがついてるんでしょうか、屋根に。その辺を教えてください。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 はい、担当課。

○子育て支援課保育園・幼稚園係長【田中恵子君】 子育て支援課・田中、お答えいたします。

今回の補助金に関しましては、新築工事、また解体工事、仮設の職員室等の設置、それらを含めまして4億4,000万円ほどの工事費となっております。

あと補助金の金額に関しては、済みません、今手元に全て持ってきてはいないんですが、3月補正予算のときに計上しました金額になりまして、済みません本日は手元に詳細の資料をお持ちしておりませんので申しわけございません。

あと太陽光パネルということなんですが、こちらの施設に関しましてはこちらは設置しておりません。

以上になります。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 よろしいですね。

はい、吉川委員。

○福祉文教常任委員会委員【吉川重雄君】 今仮設の職員室っていうふうに言ったんですけども、これはこれだけの募集人員は最初からわかってて、一般の人に対する募集のことはいつやったんですか。要はこれだけの定員数について、ゼロから1、2歳児まで斜線が引いてあって、募集定員とか園児数とかはゼロになっているんだよね。斜線が引いてあるん

だけでも。こちらのほう、普通はこういった新しい施設だったら募集をしたら非常に多くて、抽選で選ぶとかいうふうな考え方になるのかなと。その辺のところの募集の宣伝効果みたいなそういうものは、どういうふうにしたのかなということをちょっと聞かせてください。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 担当課、どうぞ。

○子育て支援課保育園・幼稚園係長【田中恵子君】 子育て支援課・田中、お答えいたします。

まず仮設の職員室の件でございますが、こちらはただ今国府幼稚園の北側の園舎部分の解体をまずしまして、そちらの部分にサンキッズ国府を建てる関係上、北側にございました職員室を仮設ということで設置した部分になります。ですのでサンキッズ国府の施設ということではございません。

また、募集と園児数、入園者数の関係でございますが、まず幼稚園部分に斜線が引かれておりますのは、幼稚園部分に関しましては3歳児以上になりますので、こちらは募集をしていないということになります。

またPRということですが、まず幼稚園部分に関しましては、国府幼稚園の園児さんがそのまま3、4歳児で今国府幼稚園に通われている方が4、5歳児として希望した方は入れるような、まず定員の募集体系としました。また3歳児さんに関しましては、国府幼稚園の在園時の兄弟関係を優先した中で広く募集をしまして、こちらは募集定員に関しまして、かなり選考の段階では定員いっぱいだったんですけれども、こちらはやはり幼稚園部分と保育園部分の併願の希望というところもかなり多くございまして、最終的には保育園部分も、町としましては11月に広く募集をしたんですが、比較的やはり大磯エリアのところ希望が集中しました関係で、サンキッズ国府のほうを第一希望にされた方というところがあまり多くいらっしゃらなかったのですが、まず初年度ということでは、比較的8割方入園のほうが決まりましたので、これから再度5月以降の入園というところも希望というところが出てきましたら、なるべく100%入ってくるような形で入所の決定はしていきたいと考えております。

以上です。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 吉川委員。

○福祉文教常任委員会委員【吉川重雄君】 最初から、こういうものを何年か前から建てるということもわかっているわけだから、地元を優先することはわかるんだけど、こ

れからは子どもの数も少なくなってくるわけだから、定員数に満たされる分を、今後きちっと募集をかけるといふふうな形で。せっかくこれだけのいいものができあがってくるといふことになると、やはり多くの方が入りたいといふふうな形の運用をきちっとやっていただけるような形で、ぜひお願いをしたいなといふふうに思っております。

以上でございます。

次は奥津さんのほうに移しますので。私のほうはこれで終わりです。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 はい、奥津委員。

○福祉文教常任委員会委員【奥津勝子君】 今回の募集定員及び4月1日からの園児数のところなんですけど、待機児童対策として認定こども園にしたという、その流れは理解しておりますけども、これは3月1日現在のもので4月1日から87名、それがゼロ歳児のところ募集人員に対して3名、まだゆとりはありますよね。そういうところは一番、保育園のところはやはりゼロ歳児、1歳児までが扱ってほしいと、人数が多いと思うんですけど、それにつく保育士さんの扱ってほしいという人数は多いと思うんですけど、それはつく人数にも関係してきますけれども、ちょっとその辺はどうなんでしょうか。

あと4歳児も9名、先ほど大磯の幼稚園のほうに希望する人も多いでってというお話でしたけど、その辺ちょっと説明をお願いします。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 はい、担当課。

○子育て支援課保育園・幼稚園係長【田中恵子君】 子育て支援課・田中、お答えいたします。

こちらの募集定員に対して園児数がまだ満たされていない状況、こちらあえてそういった状況にしたわけではございません。まだここは空きがあるということで、随時募集をしております。比較的ゼロ歳児さんに関しましては、やはりスタートの4月1日でゼロ歳児がうまるということは、どの施設でもあまりないケースでのスタートということもございまして、ゼロ歳児さん、月齢で12ヶ月、1歳に近いお子さんになって、保育園のほうに預けられるかなと保護者さんが判断された場合、入所希望を年度内の比較的后半ぐらいに希望ということも出てきた場合は、随時入所の判定のほうの決定のほうはさせていただきたいと考えております。

また4歳児さんに関しましても、空きのあるところは随時募集というか、希望がありまして定員が空いているところは入所のほうを決定していきたいと思っております。

また募集定員に対して120%までは入所のほうの決定ができますので、まだそういった

ところでも余力がある年齢のところに関しましては、今後も希望と定員のところで入所のほうは決定してまいりたいと考えております。

以上です。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 はい、奥津委員。

○福祉文教常任委員会委員【奥津勝子君】 安心しました。

そうしますと4月1日現在からは87名だけけれども、まだ余裕があるところには4月1日過ぎてからでもちゃんと預かっただけだと。その方たちに対して保育教諭を13名、うち5名が非常勤という形ですけども、この体制はきちっととれていくんですね。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 はい、担当課。

○子育て支援課保育園・幼稚園係長【田中恵子君】 子育て支援課・田中、お答えいたします。

こちらの保育体制に関しましては、やはり国、県の基準のほうでクリアしなければいけない常勤・非常勤の割合というところもございます。比較的サンキッズ国府に関しましては少し、若干人数的には多い配置で、今年度23名ということでスタートしていく施設となりますので。また園児数が先ほどの各年齢に対しまして120%で利用ができますので、随時足りなくなりましたら補充ということも、こちら恵伸会グループの中でまだ対応が可能ということは聞いておりますので、そういったところも柔軟に対応してまいりたいと考えております。

以上です。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 はい、奥津委員。

○福祉文教常任委員会委員【奥津勝子君】 わかりました。

先ほど渡辺委員が言われた、太陽光パネルはまだつけなかったって、それはやはり金額的なところですか。それとも、やはりつければ認定こども園内の電気料っていうのは変わる。まあ、それは向こう恵伸会のほうが考えることでしょうけど。恵伸会のほうでこれからつけるということも考えられますか。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 はい、担当課。

○子育て支援課長【瀬戸克彦君】 子育て支援課・瀬戸です。

太陽光パネルのほうにつきましては、当初の設計のところでは電気のほうを充足できるかどうかというのを設計業者さんのほうで検討した中で、今回はちょっと残念ですけどもつけられないという方向になられたということで聞いております。

また補助メニュー等があればそれに対応できるんじゃないかということで、お話しをいただいたんですけども、特に太陽光に関する補助メニューもなかったのも、今回はちょっとあきらめるような形になってます。

以上です。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 よろしいですね。

はい、吉川委員。

○福祉文教常任委員会委員【吉川重雄君】 補助的な質問で申しわけないんですけど、今の太陽光の話だけど、メニューがないからなんてどういう考え方をしてるの。この町は、あなたたちは行政としてはやる気がなかったんだらうけど、議会はきちっと、公共施設には太陽光を推進しなさいって言うふうにも言ってるにもかかわらずだよ。そういうものをなぜ恵伸会のほうに、事業者にきちっとそういうものをやんなさいよというふうなことを言わなかったの。メニューがないからやらないなんていうのはおかしいと思わない。そういうところが行政として、何のために太陽光の、言ってみればこの町はきちっとそういうものをやりましょうというようなことをやったのかという、その意識はどういうふうにかえるの。あなたたちの頭の中にそういう意識はないの。それだけ聞かせてよ、あるかないか。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 はい、担当課。

○子育て支援課長【瀬戸克彦君】 子育て支援課・瀬戸です。

今回当初のところでは設計にも入ってないし補助メニューもなかったということで、今回は外してるんですけども、その後恵伸会の御担当のほうとお話し合いのほうをさせていただいてる中で、今後ちょっとそちらのほう、太陽光については検討していきますということで、また協議を進めていくような形でお話しが進んでいるところでございます。

以上です。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 吉川委員。

○福祉文教常任委員会委員【吉川重雄君】 こういう太陽光なんかというのは、後から入れるっていうのは、すごくお金がまたかかるんだよ。最初からやはりきちっと入れておけば、設計にも補助メニューも入ってないなとそういうふうなことを見たときに、そういうふうなことをきちっと行政として言わなかったのかどうか。なぜ言わなかった。

補助メニューがないから、じゃあやらないなんて話じゃないでしょう。その辺のところはもう少しあなたたちの行政の考え方というか、この町はどういうふうな町づくりをしたのかっていうのは町長の指針の中にも当然ありますよね。そういうふうなことを考えて

みると、その辺のところの話がずっとこないというか、設計にも入ってない、補助メニューにも入ってないって、おかしい話だよ。入ってなかったらあなたたちのほうから行政からきちっと入れなさいというふうなことで、補充的なものは、じゃあ議会にもそういうものが出るような形で協力をしていただこうとかいうふうなものが出てきて初めて出てくれば、議会でも自分たちでエネルギーの条例をつくったのに、それは駄目よなんていう話が出てこないような気がするんですけど、その辺のところをもう少し頭の中に入れてもらわないと困るなという感じを私は受けるんですけど。その辺のところはどうですか。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 はい、担当課。

○子育て支援課長【瀬戸克彦君】 子育て支援課・瀬戸です。

私どものほうでもその辺を踏まえた中で恵伸会、業者さんのほうには御指導させていただいたんですけども、今回当初のところにはとりあえずのらなかったということで、またその辺につきましては今後も協議して検討していくということでお話しのほうをいただいておりますので、その中で設置できるようにちょっと協力していきたいと思っております。以上です。

○福祉文教常任委員会委員【吉川重雄君】 委員長、よろしいですか。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 はい、吉川委員。

○福祉文教常任委員会委員【吉川重雄君】 お話をいただいていますじゃなくて、お話をするのが行政としての立場じゃないの。今の話を聞いていると、お話ししていただいてということはあなたたち一言も出してないの。入ってないのがおかしいよというふうなことを言って、初めてこの事業者も考えざるを得ないんじゃないのかなというふうなことを気が付くんですけども。町なんかでも補助メニューがなければ、町長は国のほうに行って補助メニューを何とかつけてほしいということで足を運んでいるじゃん。そういうふうなことは当然やっていくはずでしょう。その辺のところを、やっぱり町長だけが頑張ってもだめなんです。現場の担当がきちっとやっぱりそういった行動をとらないと。とって初めて、じゃあ副町長も町長もそういった面で県に行ったり国に行ったりで、補助メニューを何とかならないかというふうなことを考えるんじゃないの。その辺のところは最初からないなんていうのは、僕には非常に納得できないよ。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 はい、担当課。

○子育て支援課長【瀬戸克彦君】 子育て支援課・瀬戸です。

私どものほうでも条例等を踏まえた中で、当初からお話しのほうはさせていただいたん

ですけれども、最初の計画のところにはのらなかったということで、引き続き御協力のほうをお願いしていくという形で、今のところ進んでおります。

以上です。

○福祉文教常任委員会委員【吉川重雄君】 もういいよ。聞いても時間の無駄。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 はい、渡辺委員。

○福祉文教常任委員会委員【渡辺順子君】 やっぱり、茶屋町公民館をつくったときも、どうだったかしら、ちょっとそういう配慮が足りなかった。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 まだこれからつくる。

○福祉文教常任委員会委員【渡辺順子君】 いや態度が足りないんですよ。そういう姿勢が。だから全体的に公共施設というのは、やっぱりそういう面で電気代も安くなるわけだから、そういうところをもっと町は積極的に、私はやってほしいと思いますよ。ほんとそういう意味でね。太陽光パネルだけじゃなくて、太陽熱とかいろんなふうな自然エネルギーを利用することができるわけで、やっぱり環境省のクールチョイスに登録すればそういうこともあったかもしれないとか、いろんな方法をやっぱり探してほしいと思います。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 答えは必要ですか。

○福祉文教常任委員会委員【渡辺順子君】 答えるなら答えて。だってほんとにおかしいもん。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 はい、担当課。

○子育て支援課長【瀬戸克彦君】 子育て支援課・瀬戸です。

当初でも、私どものほうで事業者さんのほうには御指導までお話しをさせていただいてる中でも、最終的な選択につきましては事業者さんのほうでされたのが今回の結果という形になっております。ただ町といたしましても、引き続き協力を求めていくような形でお話しを進めていきたいというふうに考えております。

以上です。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 では、質疑を終了します。

何、まだあるの。

○子育て支援課長【瀬戸克彦君】 子育て支援課・瀬戸です。

先ほど渡辺議員のほうから補助金の関係でということで、数字のほうがわかりましたので御報告だけさせていただければと思います。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 後で紙でよこしたら。

はい、担当課。

○子育て支援課長【瀬戸克彦君】 これ前回の福祉文教常任委員会のときに資料で出しているものなんですけども。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 出てるんだよね。

(吉川委員「なかったからしょうがないじゃ済まないよ」と叫ぶ)

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 静かにしてください。

○子育て支援課長【瀬戸克彦君】 補助金のほうが保育園部分と幼稚園部分を合わせまして、国、県、町の合計金額といたしまして、2億2,856万8,000円補助のほうを出しております。そのうち町の一般財源の持ち出し分といたしまして、4,186万1,000円になります。

以上です。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 改めて質疑を終了いたします。

議題(2) その他

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 それでは(2)「その他」として委員から特に御意見がなければ、これより現地視察を行いますので玄関にお集まりください。

暫時休憩いたします。

(午前 9時54分) 休憩

(午前10時49分) 再開

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 休憩を閉じて再開いたします。

それでは特に御意見がなければ、これをもちまして福祉文教常任委員会協議会を閉会いたします。

(午前10時50分) 閉会
